

会報



新しいスタイルへの変化と順応

- | | |
|------------------|----------------------|
| P 2 役員挨拶 | ／ P 5 委員会より |
| P 8 福岡先生を偲んで | ／ P 10 研修会報告 |
| P 12 東海北陸ブロック会議 | ／ P 13 理事会報告・新入会会員紹介 |
| P 14 共済よりお知らせ | ／ P 15 支部長会議 |
| P 16 編集後記・表紙写真説明 | |

令和2年(2020年)度 学術研修会

第1回学術研修会

9月6日(日) オンライン

運動と体温調節・水分補給について

講師:公立大学法人三重県立看護大学 教授 大西 範和 先生

2020年度はコロナ禍で多くの行事の中止を余儀なくされましたが、9月6日(日)に本会初となる zoom を用いたオンラインで、鍼灸学校に進学を希望する高校生を含めた参加者を迎えて第1回目学術研修会を開催しました。

講師の大西先生は、全日本鍼灸学会創立時の会長である高木健太郎先生の講義を受けられたことがあるそうで、今回の研修会ではそのご縁を感じた次第です。

昨今ではいわゆる猛暑日と呼ばれる日が増加しており、毎年夏には熱中症に関する話題がニュースをにぎわせております。大西先生からは、PC やスマホの画面越しとはなりましたが、体温調整や水分補給の重要性といった生理学的な内容を解説していただきました。

われわれ鍼灸師も一般の患者さんやスポーツ選手の健康に責任を持つ立場として、今回ご講演いただいた内容を正しく理解しておく必要があることを再確認する貴重な機会となりました。



第2回学術研修会

12月13日(日) オンライン

「ポルトガルにおける主要な鍼治療法 - 土屋式鍼治療について -」

講師:明治国際医療大学 特任准教授 鶴 浩幸 先生

鶴先生を講師としてお招きするのは平成29年以来2回目となりますが、今回は留学中のポルトガルから一時帰国中の合間を縫ってご講演いただきました。今回は土屋式鍼治療による実際の症例や治療方法はもちろん、コロナ禍に揺れる現地の状況も含めて解説していただきました。

昨今、世界情勢的にもいわゆる「日本鍼灸」スタイルの鍼灸術が注目を集めてきておりますが、その中でも今回ご紹介いただいた土屋式鍼治療は、普段日本で臨床を行っているわれわれにとっても馴染みが良く、理解しやすい手法である印象を受けました。その治療効果も即効性があり、現地の患者の皆さんの健康管理、健康の維持増進に必要な不可欠な重要な医療であるとの認識を深めることができました。

また、他国で行われている鍼灸治療についての見識を広げ、その治療哲学に触れることは、われわれにとって重要な学びであり、自己の成長につながる貴重な機会であったと思います。

現在、土屋式鍼治療に関するテキストの日本語訳を検討中ということを知ることができました。日本で正式に出版された際には、改めて勉強をしたいと思う内容でした。

(以上報告: 学術委員長 奥田一道)

令和元年度～2年度の財団生涯研修会と今後の学術研修会について

令和元年度に研修会参加会員は47名で、そのうち(公財)東洋療法研修試験財団が定める修了証書交付の条件となる25単位以上取得者は9名(岡田賢、天野治、新谷有紀、瀧本一、奥山敬太、一見隆彦、楠原秀一、松山真理子、奥田一道 ※敬称略)でした。

令和2年度はコロナ禍で各種研修会や学会等の中止が相次いだためスケジュールが組めず、生涯研修会の申請をしておりません。(※会員から連絡された研修会への参加は記録しています。)令和3年度は例年通りの研修会を企画していく予定ですが、現在の社会状況や他業種の研修などを鑑みても、今後もオンラインでの研修や行事は増えていくことが予想されますので、研修会の運営方法も社会情勢に応じてオンラインでの研修へと変化させていくことを考えています。各回の研修会案内に同封した「zoom マニュアル」をご参照いただき、新しい研修会様式を取り入れて、オンラインでの研修参加にチャレンジして下さい。(学術委員会)

第3回学術研修会

令和3年1月17日(日) オンライン

受領委任払い制度の現状と今後について

講師:(一社)三重県鍼灸師会 業務執行理事 保険委員長 天野 治 先生

今年度の第3回学術研修会(療養費関連)を1月17日(日)に開催しました。今回は25名の参加者を迎え、毎年おこなっている保険取扱いに関する内容となりました。

「受領委任払い制度」が導入されて間もなく2年が過ぎようとしており、その間にさまざまな変更や改訂が行われていますが、天野先生からは療養費を取り巻く最新の情報とともに、保険審査・請求にかかわる業務において肌で感じたりリアルな現状についても説明していただきました。

制度を正しく理解して運用することは、それを利用する鍼灸師の責務であると、改めて感じられる研修会でした。が、制度に関する知識を常にアップデートし、最新の状態にしておくことはたいへん重要な作業です。

本会も委員、事務職員がレセプトチェックをしています。この審査がオンラインになった場合も考えておく必要があります。

今年度を振り返ってみると、当初からコロナに振り回された1年でした。今年度の研修会はこの第3回が最終となりますが、コロナ禍における研修事業のあり方については、社会の動きなども良くとらえた上で検証し、来年度事業を策定して臨みたいと考えています。

(報告: 学術委員長 奥田一道)



当日のウェブ研修会場の様子

第3回三重県慢性疼痛診療研修会

令和2年12月6日(日)オンライン講演

多職種連携による痛みへのアプローチ

三重大学医学部附属病院痛みセンター主催で、医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、鍼灸師など多職種の方を対象としたオンライン研修が開催されました。

丸山一男先生による「慢性疼痛の考え方」では痛みの伝導路とその抑制系、感覚と情動との関連について解説が行われ、その対策の多様性と多職種連携の重要性について提案がなされました。成書に明記されていない伝導路について質問を行えたこともよい収穫となりました。

坂本正先生による「慢性疼痛へのインターベンション治療」では最先端の治療手段を併用することの重要性について解説が行われました。

酒井美枝先生による「慢性疼痛患者への心理学的アプローチ」では、最近メディアでも紹介されるようになった痛みによるADL・QOL向上を目的とした心理学的アプローチの一つであるACTについて、演習を交えたうえで講演が行われ、問診の方法とその汲み取り方の重要性を実感しました。

我々鍼灸師が必要とする知識が習得できた同時に、多職種連携を行うことで患者の生活改善方法の選択肢を増やすことが出来ることを学べた研修会でした。

(報告: 四日市支部 宮脇 太郎)

三重県鍼灸師会広報ロゴマークを制作しました

昨年から広報普及チームで進めてきた広報用のロゴマークができました。

三重県鍼灸師会のイメージカラーであるグリーンをベースに「MIE」の文字と、鍼、お灸をマークに組み込んでいます。みなさんの鍼灸と患者さんへの愛が表現できたかなと感じていますがいかがでしょうか？

マークの変更はできますので、ご意見あればお待ちしております。

一般社団法人
三重県鍼灸師会

MIE Acupuncture & Moxibustion Association



会報



コロナとの共生に向けて

- | | |
|--------------------|----------------------|
| P 2 役員挨拶・定時会員総会 | ／ P 4 災害時業務提供協定 |
| P 5 JIMTEF・NELS | ／ P 6 新型コロナウイルスアンケート |
| P 7 鍼灸師会のレベルアップとは？ | ／ P 8 スキルアップセミナー |
| P 8 活動報告 | ／ P 9 療養費 |
| P 10 活動予定 | ／ P 11 広報普及委員会より |
| P 12 理事会報告 | ／ P 13 新入会会員・お知らせ |
| P 16 編集後記 | |

2020年度 今後の予定

新型コロナウイルスの影響で、予定していた下記日程が中止、延期となっています。

5月	第1回研修会（療養費）→開催未定
7月	第2回研修会（運動と体温調整水分補給について）→延期（オンライン研修会検討中）
8月	青年部スキルアップ企画→未定
9月	第3回研修会（フルマラソンサポートに必要な基礎知識）→未定
9月	リレーフォーライフジャパン（協賛協力をしていました）→中止
9月	全日本鍼灸学会・京都→中止（抄録発行のみ）
10月	子ども応援！わくわくフェスタ→中止
10月	燃ゆる鹿児島大会（来年のとこわか大会へ向けての視察）→中止
12月	中日お伊勢さんマラソン→中止
12月	みえ松阪マラソン→来年に延期
12月	日本鍼灸師会全国大会→中止



2021年10月開催のみえとこわか大会の準備が始まっています。他業種（理学療法・作業療法・柔道整復・マッサージ）と共にコンディショニングルームを開設し、全国から集まる16競技のアスリート達をサポートいたします。

鍼灸師会の担当競技は「フライングディスク」「ボウリング」の2競技の予定です。

コンディショニングルームは3日間開設され、各日、各競技100名ほどの利用者が見込まれています。昨年の茨城大会、今年の鹿児島大会と、県から依頼されて視察に行く予定でしたが、台風や新型肺炎などで両大会とも中止（鹿児島は未定）となってしまいました。3大会振りとなる三重大会では、選手・役員とも気合をいれて臨む事となりそうですので、当会でも大いに盛り上げてサポートしていきたいと思っております。関連する研修会なども開催予定ですので、奮ってご参加ください。

オンライン研修会の準備を進めています

コロナ渦で様々な研修会やイベント中止が相次ぐ中、当会ではオンライン環境の整備を進め、会議や研修会を行えるように準備をしています。現在は、オンライン会議アプリの「zoom」の導入予定です。今後、様々な分野でのオンライン化が進むことが予想されますが、会員のみなさんも時代の流れに対応できるよう、ネット環境や機材の導入などのご準備をお願いします。

準備物：①インターネット環境②視聴できる機器（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）

③ヘッドセットかマイク付きイヤホンなど

「何をどう準備すればいいのかわからない」不明な方はご連絡ください。

三重県鍼灸師会公式マスコットキャラクター

「東洋医学をわかりやすく」を目標に作成を始めたマスコットキャラクター。鍼とお灸、陰陽五行を表現する7体のキャラクターができました。ホームページでも詳しく紹介していますので、ぜひご覧ください。



名前:陽太(ひなた)
生まれ:山の中、栗のイガから
特技:痛みや病気をなおすこと
性格:明るく元気(陽性)
持っているもの:鍼(はり)



名前:小春(こはる)
生まれ:艾の里
特技:もぐさ作り、お灸
性格:内気で優しい
持っているもの:笠(もぐさで
できている)



名前:かんぞー
五行の「木」の性質を持つこま犬。自信と活気に満ち溢れている兄貴肌。おこりん坊が珠に傷。春に生まれたので、桜の花びらとヨモギが付いている。

名前:しんちゃん
五行の「火」の性質を持つこま犬。お調子者のお祭り男、ポジティブな行動派。忍耐力はイマイチ。お灸が大好きでいつもモクモク燃えています。

名前:ひーくん
五行の「土」の性質を持つこま犬。物静かで寝る事食べる事が大好き。兄弟の中で一番思慮深い。ゴロゴロしているので、背中に土が付いています。

名前:はいちゃん
五行の「金」の性質をもつこま犬。感性が鋭く多才だが、繊細で傷つきやすい。秋に生まれたので、落ち葉がついている。首にぶら下がっているのは「いちよう鍼」。

名前:じんくん
五行の「水」の性質を持つこま犬。クールで自立心旺盛な自由人。実は怖がり。寒がりさんで、手袋と毛糸のパンツが手放せない。頭には鍼が刺さっています。

ホームページをリニューアルいたしました

すでにご覧になった先生方も多いかと思いますが、当会のホームページを全般的にリニューアルいたしました。会員のみなさまにはより早く、わかりやすい情報をお届けできるように、一般の方や行政の方には鍼灸の理解を深め、鍼灸院へのアクセスに繋がるようなツールを目指して更新しています。みなさんからのご意見を反映させながらよりよいホームページ、広報ツールを作成していきますので、忌憚のないご意見をお待ちしています。

